

全Aネット平成29年度事業計画（案）

I. 全国のネットワークづくりについて

①各都道府県支部の活動支援

今年度、各支部活動を重点的に支援する。特にまだ活動に入っていない県等については、事業所への呼掛け等協力体制で臨む。

②会員勧誘

パンフレットをもって、全Aネットの知名度を上げることをしながら、会の運営への協力を呼びかけお願いする。

③地方ブロック単位での活動の模索

II. 本調査（実態調査・評価指標試行）の分析・報告書作成について

平成28年度ヤマト福祉財団助成事業を受けて今年2月に全国3,500事業所に実施した。そのデータ集計・分析・報告書（7月ごろを目途に）にまとめる。

III. 平成29年度日本財団助成事業「障害者の中間的就労分野（保護的就労及び支援付き就労）における就労継続支援A型事業の可能性拡大事業（中間的就労分野とA型事業の可能性拡大事業）」を受託し、以下の事業を重点的に推進する。研究会での議論、ヒアリング・訪問調査実施、及び地域セミナーでの意見交換を踏まえて、一般就労と生きがい就労の間で展開されている多様な中間的就労分野における課題を整理し、その中での就労継続支援A型事業の可能性を検証する。

【検討テーマ】

- ① 仕事の確保～一定の所得確保が得られ、働きがいのある仕事の実現しやすい職域の特定と、官公民需の拡大策やみなし雇用制度の検討、
- ② 障害者の所得～障害年金との関係、就労所得との連動のあり方、職業能力評価方法、
- ③ A型事業から一般就労への移行～就労移行支援事業所との関係、企業との連携のあり方、
- ④ B型からA型への移行促進策、ソーシャル・ファームやユニバーサル就労との関係～B型等の利用者がA型利用をするうえでの課題、生活困窮者・触法ケース者・ニート・引籠り・ホームレスなど「働きにくい方」に対するA型事業所の取組みのあり方、及びソーシャル・ファームやユニバーサル就労との関係の整理、
- ⑤ 良きA型事業の健全な運営事業所の標準・基準づくり、優良事業所開示方法の検討

1. 研究会の開催と報告書の取りまとめ

上記事業目標にある、多様な中間的就労分野における検討テーマにつき、研究会を年7-8回開催し、一般就労と生きがい就労との間の中間的就労（保護就労及び支援付就労）分野における課題とA型事業の可能性について、政策提言をまとめる。

【委員】

岩田克彦（年金シニアプラン総合研究機構客員研究員）

村木太郎（全国シルバー人材センター事業協会専務理事）

久保寺一男（全Aネット理事長）

駒村康平（慶応義塾大学経済学部教授）

菊池馨実（早稲田大学法学部教授）

中島隆信（慶應義塾大学商学部教授）

+障害者関係の研究者数名、全Aネット理事、障害者就労関係の現場リーダー数人

2. ヒアリング・訪問調査を実施

必要に応じて現場の訪問調査等を実施し、好事例集の作成も検討する。

3. セミナー開催

健全な運営をめざす良きA型事業のあり方を考える地域公聴会（意見交換会）を、100～200人規模で、大阪府、愛知県、福岡県において開催する。

4. シンポジウムの開催（於：東京）

年度最後に、基調講演、本事業中途報告、実態報告、先進事例の紹介、パネルディスカッションからなるシンポジウムを東京で開催する。

IV. 国等への要望について

本調査結果を基に、8月下旬を目途に要望書を提出する。

V. 研修会の協力

- ①日本財団主催「就労フォーラム 2016」への協力
- ②ヤマト福祉財団パワーアップフォーラム(福岡市)への協力

VI. 総会・理事会

- ①総会～平成 29 年 6 月 24 日(土)
- ②理事会～年数回 6/24(土)、10/6(金)、3/22(水)

VII. その他

VIII. 年間日程表 (予定)

	研修会等	理事会・総会	日本財団助成事業	
4月				
5月			検討会①	
6月		24日(土) 総会・理事会①	検討会②	
7月	ヤマト福祉財団平成 27 年度助成事業報告書作 成・提出		22日(土) 大阪セミナー (大阪国際交流センタ ー)	検討会③
8月	国への要望書提出			検討会④
9月	1日(金)ヤマト福祉財団 パワーアップフォーラ ムへの協力		2日(土) 福岡セミナー 「はたらく NIPPONin 福岡」()	検討会⑤
10月		6日(金) 理事会②		検討会⑥
11月			11日(土) 愛知セミナー (愛知県産業労働センタ ー)	検討会⑦
12月	就労フォーラム 2017へ の協力			検討会⑧
1月				
2月			日() 東京シンポジウム	
3月		22日(水) 理事会③		